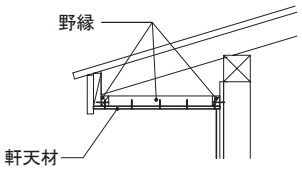
6 軒天

6－3 納まり詳細図

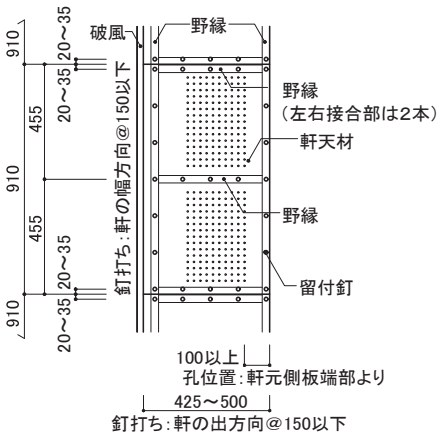
2）軒天12防火有孔板　標準施工方法　QF030RS－0155

●下地組み
野縁梯子組：軒の出方向は500㎜以下、幅方向は455㎜以下の間隔で野縁（30×40㎜以上）を組みます。
軒天材の左右接合部は野縁2本組みとします。
軒の出が500㎜を超える場合、軒の出@500㎜以下に吊り木（吊り木@1000㎜以下）で吊ります。
●下地の不陸は3㎜以下に調整します。
※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。
●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。
●孔の位置が野縁にかからないようにします。
●孔の位置が軒元側の板端部より100㎜以上となるように切断します。
●長手方向への切断は行わないでください。（切断が必要な位置には無孔板を使用します。）
●軒天材の留め付けは専用釘（ステンレスリング釘φ2．3㎜×38㎜）を用い、
野縁梯子組：軒の幅方向・出方向ともに150㎜以下の間隔で留め付けます。
●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20～35㎜とします。
●無塗装品（シーラー品）は施工後2ヶ月以内に塗装を行い、塗料は弊社が推奨する塗料メーカーの仕様に従って塗装してください。

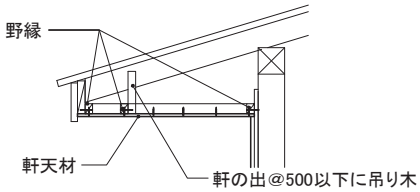
軒の出が500㎜以下の場合

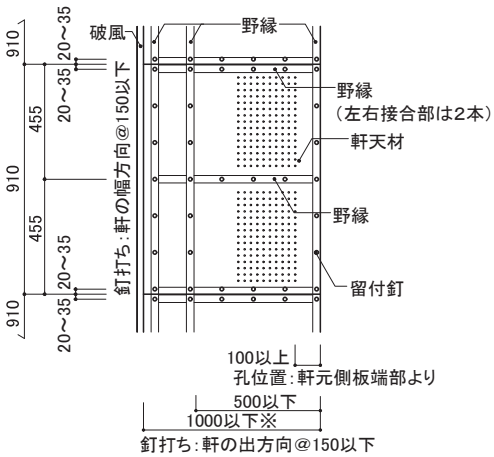


野縁梯子組



軒の出が500～1000㎜以下の場合
（防火認定上の規定）





※軒の出が600㎜を超える場合は、製品上1枚で1ヶ所取りとなります。
ただし、軒の出方向の野縁が孔位置にかからないようにしたり、更に野縁を増やすなど措置が必要となります。
（その場合でも製品上最大で970㎜程度となります。）

軒の出が600㎜を超える場合は、防火通気部材の使用をお勧めします。